| | |
|---|---|
| 事例No. | 822 |
| 公表年度 | H30 |
| 団体の属性 | 町村 |
| 団体名 | 愛知県東郷町 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | DX |

| | |
|---|---|
| タグ | ・AI<br>・（行政改革）業務の効率化<br>・ICT |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | AI |

事例内容・タイトル

音声書き起こしソフトによる会議録作成支援

出典

地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用事例

# 音声書き起こしソフトによる会議録作成支援（愛知県東郷町）

実証実験

これまでは、各課で主催する会議等について、ICレコーダーで録音し、音声を聞きながら職員が文字入力を行っていた。**音声書き起こしソフトを使用**することにより、職員の事務負担軽減に寄与するのか検討。

## 課　題

○　**会議録を作成する際**、ICレコーダーで録音し、音声を聞きながら職員が手作業で文字入力を行っていたため、**時間の長い会議では膨大な時間をかけて作成**している。

## 取　組

○　前年度開催した会議のうち、会議録を作成している業務について、各課に対して事前調査を実施。
⇒　調査の結果、前年度は会議録作成に全体で**約1500時間**という膨大な時間を要していることが判明。
○　音声書き起こしソフトの精度を確認するため、原課と調整し、**各会議で実証実験を実施**。
○　これまではICレコーダー１つで録音していたが、マイクスピーカーを使用し音を集音、集音した鮮明な音をICレコーダーで録音、録音した音声を音声書き起こしソフトを用いて、文字起こしを実施。

## 成　果




メリット
○　これまで数時間かけていた議事録作成が**数分で完了**。
○　方言などについても、事前に登録することで対応が可能。

デメリット
○　実証実験では２種類のマイクスピーカーを使用した。
①　会議体の中心に設置し、３６０度の音を集音するもの（無指向性）。
②　発言するときにマイクを使用し、一方向の音のみを集音するもの（単一指向性）。
⇒　無指向性のマイクでは、鮮明な音を集音できず、音声書き起こしソフトを使用しても文章にならなかった。
しかし、単一指向性のマイクでは人間による手直しは多少必要なものの**職員の事務負担軽減に寄与する可能性**があった。